

Mémoires 2019

天皇賞(秋)



第160回天皇賞(秋)「GI」優勝馬アーモンドアイ



頂上決戦を鮮やかに制す

スタート直後の不利により、よもやの敗戦を喫した安田記念(3着)から約5か月、アーモンドアイがターフへと帰ってきた。天皇陛下御即位慶祝競走として行われた第160回天皇賞(秋)は、サートゥルナーリア、ダノンプレミアム、ワグネリアン、スワーヴリチャードなど10頭のG I ホースが名を連ねたが、

「もう一度、強いアーモンドアイが見たい」というファンの期待もあってか、単勝オッズ1.6倍という支持を受けていた。そして、ライバル筆頭格(単勝3.4倍)と目されたのはこの年の皐月賞馬のサートゥルナーリア。神戸新聞杯を完勝しながらも、次の目標を「菊」ではなく「盾」と定めた陣営の覚悟と決断が評価された。

ゲートが開くと、すぐさま逃げを打ったのは予想どおりにアエロリットで、上位人気のサートゥルナーリアとダノンプレミアムが続く。好スタートを切ったアーモンドアイは、ライバルたちをすぐ前に見る中団のインコースで自らのリズムを守った。アエロリットが作り出した1000mの通過タイムは59秒0と落ち着いたもので、馬群に目立つ動きはなく、少しずつペースを上げながら4コーナーを回り、直線へと入っていく。

しぶとさが身上のアエロリットが粘るところへ、外からサートゥルナーリアが迫り、さらにその外からダノンプレミアムも並びかけた。そのときだった。内ラチ沿いの空いたスペースからするすと抜け出してきたのがアーモンドアイだ。あっという間に先頭に立つと、後続との差は広がるばかりとなり、ダノンプレミアムとアエロリットらの2着争いを尻目に悠々とゴールを駆け抜けたのだった。

「直線でインへ突っ込んだ時の凄い伸びにはビックリしました」。ゴール前から早々と右腕を挙げていたクリストフルメール騎手は、しばらく下ろすことを忘れていたかのように見えた。それは、この馬の呆れるほどの強さに感嘆し、当然の帰結としての勝利の余韻に浸っているかのように。

これでドバイターフ(UAE・GI)を含め、6つ目のG I タイトルを手に入れたアーモンドアイ。G I 最多勝記録を見据え、挑戦は続く。



▲ 軽快に飛ばすアエロリット(帽色・赤・右)が後続を引き連れ4コーナーを回る。

第160回天皇賞(秋) [GI]

10/27 東京競馬場 2000m(芝・左) 晴・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/差	人気	通過順位
1	アーモンドアイ	牝	4	56	C.ルメール	国枝 栄	1:56.2	①	⑤⑥⑤
2	ダノンプレミアム	牡	4	58	川田 将雅	中内田充正	3	③	⑤⑤③
3	アエロリット	牝	5	56	戸崎 圭太	菊沢 隆徳	クビ	⑥	①①①
4	ユーキャンスマイル	牡	4	58	岩田 康誠	友道 康夫	クビ	⑦	⑬⑬⑬
5	ワグネリアン	牡	4	58	福永 祐一	友道 康夫	クビ	④	⑪⑪⑨
6	サートゥルナーリア	牡	3	56	C.スミヨン	角居 勝彦	1 1/2	②	②③③
7	スワーヴリチャード	牡	5	58	横山 典弘	庄野 靖志	ハナ	⑤	⑦⑨⑨
8	ウインブライト	牡	5	58	松岡 正海	畠山 吉宏	1 1/4	⑫	⑦⑧⑤
9	ケイアイノーテック	牡	4	58	幸 英明	平田 修	1	⑭	⑭⑭⑭
10	マカヒキ	牡	6	58	武 豊	友道 康夫	3/4	⑧	⑭⑬⑬
11	ゴーフザサミット	牡	4	58	北村 宏司	藤沢 和雄	3/4	⑩	⑪⑪⑫
12	スティッフエリオ	牡	5	58	丸山 元気	音無 秀孝	1 1/4	⑪	②②②
13	カデナ	牡	5	58	藤岡 佑介	中竹 和也	3	⑩	⑬⑬⑬
14	アルアイ	牡	5	58	北村 友一	池江 泰寿	2	⑨	⑨⑥⑦
15	ランフォザローゼス	牡	3	56	M.デムーロ	藤沢 和雄	2 1/2	⑬	⑨⑨⑪
16	ドレッドノート	騾	6	58	坂井 瑠星	矢作 芳人	6	⑮	④③⑦

単勝 ②160円 複勝 ②110円 ③260円 ④270円 枠連(1-5) 220円
馬連 ②-③920円 馬単 ②-③1,170円 ワイド ②-③400円 ②-⑤400円 ⑤-⑨1,740円
3連複 ②-⑤-③3,210円 3連単 ②-③-⑤8,860円

ハロンタイム 12.8-11.4-11.5-11.6-11.7-11.6-11.3-11.1-11.3-11.9
通過タイム 600m ③5.7-800m ④4.7-1000m ⑤5.0-1200m ⑥1:10.6-1400m ⑦1:21.9-1600m ⑧1:33.0-1800m ⑨1:44.3

優勝馬 アーモンドアイ
2015.3.10生 父ロードカナロア 母フサイチパンドラ 母の父サンデーサイレンス
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)シルクレーシング

▶ レポートの秒と通タイムを方の違いを見せたアーモンドアイ。